

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		ロシア語ⅡB R252 Intermediate Russian B				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 服部 文昭	
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金4		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
（文法の仕上がっている諸君を対象に）文学作品を読む力を養う： これまでにロシア語Ⅰ、Ⅱで学んだロシア語を活かして、ロシア文学の原典に取り組んでゆく。									
[到達目標]									
知的鍛錬・教養の向上を念頭に置きつつ、読解力を高め、専門領域でのある程度の情報収集能力を身につけることを目指す。									
[授業計画と内容]									
チェーホフやイワン・ブーニン（ノーベル賞作家）の作品を精読する。 受講する学生諸君のレベルによっては、19世紀前半の作家の短編にも取り組んでみたいと考えている。 まずは、アントン・チェーホフの短編『恋について』を取り上げる。 『恋について』は、1898年の発表である。ともに同年の発表の『箱に入った男』、『すぐり』との三部作の三番目の作品である。ある地主貴族の恋の物語を通して、当時の民衆の状態、農村の窮状、そのようなことに対する知識階級の態度などを読み取り、ロシアの文化や社会への理解を深めてゆきたい。 実際の授業では、テキストをブロックに分割し、受講生諸君に割り当てて、精読をする。したがって、丹念な予習が求められる。									
[履修要件]									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
[成績評価の方法・観点]									
平常点（50％）と期末試験（50％）の総合評価。課題の単なる正誤ではなく、取り組み方が真摯なものか等も評価する。									
[教科書]									
プリント配布。									
[参考書等]									
（参考書） 授業中に紹介する									
[授業外学修（予習・復習）等]									
授業の進行に合わせて、教室で指示する。									
[その他（オフィスアワー等）]									
授業に積極的に参加すること。予習は必須である。									
[主要授業科目（学部・学科名）]									